



道路 道路の整備状況 について問う

まつもとゆきよし
松本幸喜 議員

「私の視点」

横断歩道や車の停止線等が消えかかっており、通学路の安全確保もままならない状況である。もっと道路の整備に力を注ぐべきではないか。

答弁（町長） 舗装修繕計画に基づき計画的に進めている

問 昨年度の道路の整備状況はどうなっているか。

答（町長） 幹線道路等については、舗装修繕計画に基づき計画的に修繕を進めている。

停止線や標識などの交通規制に係る施設の工事については、群馬県警、群馬県公安委員会で管理している。伊勢崎警察から工事を担当する群馬県警本部に、横断歩道12件、停止線8件の申請を行っているとのことであり、群馬県の予算の範囲内で工事を実施している。

区画線や路面標示については、6地区の工事を実施し、延べ3746メートル換算の路面標示を設置している。

また、昨年度の道路整備に関する地区からの要望件数は28件で、16件について対応済みとなっている。対応ができていない要望については、引き続き、現場の状況や予算などを勘案して対応を検討することになっている。



消えかかっている横断歩道の路面標示

都市計画の見直しは

問 都市計画の見直しは行わないのか。

答（町長） 平成19年に北部工業団地、平成21年と平成27年に東部工業団地の拡張、令和2年に高崎玉村スマートIC北地区工業団地を市街化区域に編入し、住居系の土地利用としては、平成26年に文化センター周辺地区の市街化区域編入を行っている。また、令和7年度には旧両水跡地周辺の市街化区域への編入を予定している。このほか東部工業団地の北東地区については、市街化区域への編入を目指し、現在、土地利用計画や課題の整理などを行っているところである。

農業系の企業誘致を

問 農業生産性の低い農地の活用を図るために、企業化された農業法人等の誘致は考えているのか。

答（経済産業課長） 農業系の企業誘致に関しては視野に入れている。現在、初期段階の打診を受けている企業が1社ある。今後、国や群馬県の許認可、関係法令等の精査をしつつ、進出の可能性を探る必要がある。

あらいけんじ
新井賢次 議員

道路 どうする、 舗装道路の デコボコ補修

「私の視点」

駅がない玉村町は車利用が多い。道路の良し悪しは、暮らしの利便性、町全体の印象に大きく影響する。交付金活用等も視野に入れ、最優先課題として取り組むべきだ。

答弁（町長） 緊急的かつ応急的補修を優先している

問 舗装道路の老朽化に伴う道路舗装補修事業は、どのように計画し、実施しているのか。

答（町長） 主要事業の一つとして、道路補修事業がある。道路の穴や舗装のへこみなどの緊急的かつ応急的な補修、地区から要望される生活道路などの舗装打ち替え工事等、比較的小規模で早急に補修が必要な箇所を中心に実施している。さらに、道路改良事業として、側溝の改修や新設に伴い、現状よりも道路の幅が広がる工事等を、地区要望を受け、交通量や受益者が多い道路を優先的に実施している。

問 令和4年度に業務委託をした「玉村町道路舗装修繕計画改定事業」の事業内容及び成果はどう生かされているのか。

答（町長） 町内の幹線的な道路や交通量の多い道路、約45キロメートルについて、舗装の劣化度の調査を行い、補修が必要な箇所の選定、



デコボコが目立つ舗装道路
補修が急がれる（角洲地内 町道1050号線）

修繕方法・時期を検討し、舗装補修の5か年計画を作成した。

これにより、舗装補修の計画的な実施が可能となり、損傷などの未然防止、修繕の短期的な集中の防止、修繕時期の分散化による予算の平準化、起債の要件を満たすことによる財源確保、水道管敷設替え工事との調整などに効果が現れている。

企業版ふるさと納税の取組強化を

問 寄附額を増やすためにどう取り組むのか。

答（町長） 大規模都市圏の企業にもアプローチできるように、自治体と企業のマッチングを行う中間事業者と契約し、寄附が広げられる環境整備をした。企業側の寄附用途に合ったプロジェクトの精査、及び数を増やすとともに、町と関わりがある企業へのアプローチを地道に続けることが必要であり、もちろんトップセールスも必要だと考えている。

答（企画課長） 足で稼ぐではないが、町長と一緒に、地域にゆかりのある企業を積極的に訪問してシティセールス、トップセールスを行い、成功につなげていきたい。

こんな質問もしています

- ・玉村町産業祭表彰式について
- ・地域活性化起業人（企業人材派遣制度）の活用について

次のページは
羽鳥議員
堀越議員
一般質問